

イシガキニイニイを保護するために、 専門家の先生はこのように言っています。

- いろいろな事がよくわかっていないセミなので、まず詳しく調査して、その結果をもとに守り方を考えよう。
- 生息地に人が入ることを防いだり、周辺の雑音や夜の灯りなどに注意しよう。
- イシガキニイニイを食べる外来種が入ることを防いだり、取り除こう。
- 地域の人みんなで守っていく仕組みづくりをしよう。



このような調査をします。

(1) 生息状況調査 (6月下旬~7月上旬)

現在、どのくらいイシガキニイニイがいて、どのような環境にすんでいるのか、どのような外敵がいるかを調べます。

- 林の内外でイシガキニイニイや他のセミの鳴き声や姿を確認します。
- 林の中でイシガキニイニイや他のセミのぬけがらを調べます。
- 確認したイシガキニイニイの行動や体の様子を調べます。

(2) 生息環境調査 (9月~10月頃)

イシガキニイニイの生息する自然の林に、どのような植物があるのか、木は枯れていないか、土壌の様子はどうかを調べます。

- 林の中を歩いてどのような種類の樹木があるのかを調べます。
- 林の中の土壌がどの程度乾燥し、かたくなっているのかなどを調べます。

(3) 生息圧迫要因の調査 (6月下旬~7月上旬)

外来種のおオヒキガエルや明かりなどの影響を調べます。

- イシガキニイニイのすむ林の周辺に、夜間にオオヒキガエルがどれくらいいるのかを調べます。
- オオヒキガエルが林に入ってくる場所を調べ、入りにくくします。
- 夜間の照明がイシガキニイニイに影響を及ぼさないかを調べます。

(4) イシガキニイニイの集い (11月)

イシガキニイニイの保護と石垣島の自然について、みんなで考える集いを開催します。専門家の先生のお話や、調査の結果を聞くことができる集いです。